

千葉歴史の散歩道

「文化財探検隊」～県内各地の歴史と地域性を楽しむ文化財めぐり～

県教育庁教育振興部文化財課
主任上席文化財主事 糸原 清いとはら きよし



県教育委員会では平成17年度から、県内各地の文化財を一般の方々と巡る「文化財探検隊」という事業を33市町村で実施してきた。地元市町村教育委員会や文化財所有者、ガイドの方々に御協力いただき、通常公開していない文化財等も見学し、解説することで、多くの文化財の魅力を紹介してきた。

本事業は、年3回、各回50名程の参加者を募り、6km前後のコースを6時間程で巡り、地域の文化財である仏像や社寺建築、板碑や道標等の石造物、城跡や古墳といった遺跡等を見学するものである。こう書くと毎回似たような内容と思われるかもしれないが、各文化財の内容や歴史的背景は様々で、調べていくと、文化財間の関連性や当地の移り変わり、当地の特徴までもが浮かび上がってきて、文化財や地域の多様性を感じることができる。毎回定員を超える応募があるため、参加者を抽選で決定しているが、毎回応募される方も多いため、同じ感想をお持ちの方もいらっしゃるだろう。

令和元年度は台風により中止した回もあったが、白井市と神崎町の2か所で実施した。ここでは、神崎町での取組を紹介する。

神崎町では、JR成田線の下総神崎駅から、多くの文化財を残す神宮寺・神崎神社や古墳や貝塚・板碑等も残る神崎城跡、そして神崎の街並みを巡りながら、同駅まで戻るコースをとった。現地の文化財や古地図、絵を辿ると、近世近代の改修以前の利根川は、現在の位置と異なり、神崎神社が鎮座する神崎森は、

川（中世以前は香取の海）に突き出した岬島状の山塊であったことに気が付く。河川交通が中心であった時代においては、森の両たもとが風待ちの良港だったこと、そして古くから寺社が栄えた歴史を理解できた。米と水と交通に恵まれた神崎は、江戸時代後期以降、醸造業が栄え、現在も「発酵の町」として地域振興の中心となっており、多くの産業遺産も見ることができる。



神崎町神宮寺での見学風景

本誌を御覧になられている方々の地元にも、国・県・市町村指定や未指定の文化財が多く伝えられているであろう。現在の街や景観が生まれる歴史を知ると、現在は歴史の上であり、未来へと繋がっていることを感じる。小学校中学年で、地元市町村を学ぶ学習があるが、大人にとっても、改めて地元を振り返ってみることは、未来を考えていく上で必要なことではないかと感じている。

千葉教育 桜 (No. 661) 令和2年3月27日発行

編集・発行 千葉県総合教育センター (代表) 秋元 大輔

〒261-0014 千葉市美浜区若葉2-13 TEL 043-276-1204

URL <http://www.ice.or.jp/nc/>

印刷所 株式会社白樺写真工芸

〒263-0002 千葉市稲毛区山王町102-5 TEL 043-423-1101